

令和6年3月31日

東御市議会議長

中村真一様

会派名 東翔の会

代表者氏名 田中信寿

## 令和5年度 政務活動費収支報告書

東御市議会政務活動費の交付に関する規則第7条の規定により、下記のとおり、令和5年度政務活動費収支報告書を提出します。

## 記

交付金額	360,000	円
支出金額	392,163	円
差引金額	-32,163	円

(支出の内訳)

(単位：円)

科目	決算額	政務活動費充当額	説明
調査研究費	378,855	346,692	行政視察費用
研修費			
広報費			
広聴費			
要望・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費	13,308	13,308	市議会会議録代
人件費			
事務所費			
計	392,163	360,000	

(実施事業)

事業名	事業内容
会議録の購入 行政視察の実施	会派内の情報共有と議員各々の一般質問などの参考とするため会議録を購入した。 市政への政策提言や議員活動、議会活動の参考とするため県外の先進事例の行政視察を行った。

政務活動記録簿

会派名	東翔の会
事業名	議会会派合同行政視察【岩手県遠野市・花巻市、宮城県・気仙沼市】
実施日	令和5年7月18日（火）～20日（木）
参加議員	田中信寿、瀬田智之、大塚博文

1 東御市における課題と研修・調査の目的

東御市でも様々な子育て支援策に取り組んでいるが、特徴ある施策について知見を得たい。  
また東日本大震災からの復興の中で東御市の防災・減災に活かせる知見を得たい。

- 【遠野市】  
子ども達の新しい読書環境について
- 【花巻市】  
奨学金制度について
- 【気仙沼市】  
防災・減災対策について

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○)	交通費・宿泊費等	草軽観光支払・高速代・燃料代	226,304
○ 調査研究費	視察先謝礼	視察先土産代	5,230
研修費			
広報費	日当	日当 (@2,200円×3日)×3名	19,800
広聴費	資料代	遠野市子ども本の森資料代	6,000
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			257,334

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No.1)

実施日時	令和5年7月18日(火) 午後1時～午後2時30分
視察場所及び部局等	岩手県遠野市・こども本の森 遠野
視察事項	こども本の森 遠野の運営について
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>遠野市は、岩手県内陸部に位置し人口は約26,300人。日本民俗学の原点ともいわれる、柳田國男の『遠野物語』の舞台となった市であり、河童や座敷童子などが登場する「遠野民話」が伝わる。基幹産業は農業であるが近年は他産業への就業者が増えている。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>○こども本の森 遠野の運営について 東日本大震災から10年後、建築家・安東忠雄氏等により東北3県に育英資金が寄せられた。遠野市では、東北復興のシンボルとして子ども達の未来の為に、日本文化の原点ともいわれる「遠野物語」の舞台であることから、新しい読書環境の拠点となる「こども本の森 遠野」整備事業を行った。遠野市では子ども達が想像力と創造力、夢と希望を育む居場所、遠野市から世界に向けての文化発信、円買い被災地との文化ネットワークの拠点、子ども達のシビックプライドの醸成、確かな学力と豊かな心の育む場所としての位置付で運営をしている。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>古民家風の施設には図書館機能(閲覧のみ、貸し出しは無し)のみでなく、親子でくつろげる空間や授乳室、地域活動室等の確保がされており、読書の楽しみが広がる工夫がされている。また保育士1名が常駐している。蔵書の分類は、遠野と東北、動物が好きな人へ、食べる、世界を見渡す、将来はどうなる、生きること/死ぬこと等、特色ある分類で興味がそそられる。イベントも多く曳き付けられる施設であると感じた。東御市でも図書館の施設改修はすぐにできないまでも、分類の見直しなどより魅力的な図書館づくりに参考となる事例であった。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No.2)

実施日時	令和5年7月19日(水) 午前10時～午前11時30分
視察場所及び 部局等	岩手県花巻市・花巻市教育委員会
視察事項	市独自の奨学金制度の取り組みについて
報告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>花巻市は、岩手県の中西部に位置する市で、宮沢賢治生誕の地でもある。人口は約91,700人。岩手県内では、盛岡市、奥州市、一関市、北上市に次いで5番目に人口が多い市である。県内唯一の花巻空港を有し、東北新幹線、東北自動車道、東北横断自動車道(釜石自動車道)などの高速交通網が整備されている。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>○市独自の奨学金制度の取り組みについて 花巻市では平成18年の合併時に花巻市奨学基金を設置し、それを財源に花巻市奨学金貸与制度を実施。平成28年度より奨学金活用人材確保事業として、卒業後に要件を満たせば返還額の半額を補助する「ふるさと保育士確保事業」「ふるさと奨学生定着事業」を開始。平成29年度からは就学支援が必要な方を対象に、返還免除型の奨学金「はなまき夢応援奨学金」制度を新設した。</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>収入格差社会が広がる中で、高等教育の格差も課題となっている。現在も多くの学生が奨学金を活用しているが、誰にも学びのチャンスを与えるために市独自の奨学金制度は有効であり、財源を確保した上で取り組むべきであると考えている。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No.3)

実施日時	令和5年7月20日(木) 午前10時～午前11時30分
視察場所及び 部局等	宮城県気仙沼市
視察事項	東日本大震災からの復旧・復興事業の取組状況と課題
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>気仙沼市は、宮城県の北東端に位置する市で、太平洋沿岸にあり、三陸海岸の一部をなす。漁業・水産業と観光が中心である。マグロ、カツオ、サンマは、全国有数の水揚げ高を誇り、特に鱻鱈の産地としても有名であり、水揚げ量は日本で。市中心部には水産加工団地が集積している。人口は約57,000人。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>○震災からの復興及び防災について ○防災教育の取り組みについて</p> <p>東日本大震災における気仙沼市の被害状況は、津波と火災により市街地はほぼ壊滅状況。人的被害は1,355人にのぼった。事業所の約80%が被災し産業にも大きな被害がでた。震災後は災害危険区域の指定区域には住宅建築を制限し、事業所や商店を集積する。一般住宅は防災集団移転促進事業により高台、内陸への移転を進め災害に強い地域づくりを進めている。商店街仮施設の設置や、魚市場の再開、水産加工施設の復旧なども進み観光客も戻りつつある。また防災教育を強化、し防災学習シートや副読本などの活用、安全担当主幹教諭や防災主任の配置、防災フォーラムや防災キャンプの開催、児童・生徒も交えた避難所設置訓練などを行っている。津波で被災した高校の校舎を東日本大震災震災遺構・伝承館として保存し防災の啓発を図っている。</p> <p>防災教育については、実際の経験に基づき行う必要性があるのを痛感した。また防災マニュアルやハザードマップの見直しも常に行う事が大切であると感じる。東御市でも防災訓練を行っているが例年型通りの訓練に終わっており工夫が必要である。また学校においては防災キャンプなど児童・生徒が進んで参加できるような機会も作るべきである。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

政務活動記録簿

会派名	東翔の会
事業名	議会会派合同行政視察【富山県南砺市、石川県かほく市】
実施日	令和5年11月1日（水）～2日（木）
参加議員	田中信寿、瀬田智之、大塚博文

1 東御市における課題と研修・調査の目的

自治体の人口減少が全国的な課題であり、東御市においても移住・定住施策は重点事業として取り組んでいる。今後の施策の参考とするため、先進的取り組みを行っている自治体の視察を実施した。

【南砺市】

・南砺市「副業」応援市民プロジェクトの効果と実績及び今後の交流人口創出に向けた施策について視察し、見識を深める。

【かほく市】

・移住・定住施策について、事業の実績及び取組状況についてお聞きし、見識を深める。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額（円）
(該当項目に○)	交通費	貸切バス代、有料道路代等 (@22,667円×3名)	68,001
○調査研究費	視察先謝礼	視察先土産代 (@440円×3名)	1,320
研修費			
広報費	日当	宿泊料、日当 ( (@13,000円 + @2,200円×2日) × 3名)	52,200
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			121,521

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと

## 3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 1)

実施日時	令和5年11月1日(水) 午後1時30分～午後3時
視察場所及び部局等	富山県南砺市議会
視察事項	南砺市「副業」応援市民プロジェクトについて
報告内容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>南砺市は、平成16年に8町村が合併し出来た市で、富山県西部に位置し、面積668.64K㎡、人口約4万7千人、主要産業はアルミ、橋梁・建築建材、工作機械等を中心とした製造業が中心。また世界遺産の「五箇山合掌造り集落」がある。</p> <p>(2) 視察事項について</p> <p>○南砺市「副業」市民応援プロジェクト事業について 人口減少は地方自治体の共通課題であるが、南砺市では市を応援する人を登録する「南砺市応援市民制度」に取り組んでいる。その中で、副業・兼業として地元企業の経営課題解決を応援できる人材を募集し、関係人口からの移住定住を目指している</p> <p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>副業応援プロジェクトについては、人材派遣会社や商工会、地銀との連携で行ったとのことであるが、結果は移住者1名にとどまったとの事である。希望者と企業のマッチングや、ビジネスから地域との関係を深めるといった部分で難しさがあると感じる。「市民応援プロジェクト」の展開の中では、若者や学生に向けた「学生サポーター」が参考となった。学生や若者が、地域活動や行事に参加し係わる事によって、シビックプライドの醸成促進が進み、若者が応援し返ってくる地域になると感じ、東御市でも取り組むべき施策であると感じる。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)

3 実施概要 (視察箇所ごとに記載)

(No. 2)

実施日時	令和5年11月2日(木) 午前10時～午前11時30分
視察場所及び 部局等	石川県かほく市議会
視察事項	移住・定住施策について
報 告 内 容	<p>(1) 視察先概要</p> <p>かほく市は石川県の中央に位置し、平成16年に三町の合併により市となった。人口は約35,800人。金沢市まで電車で30分、車で20分という立地にあるため、金沢市のベッドタウンにもなっている。</p>
	<p>(2) 視察事項について</p> <p>○移住・定住施策について かほく市では子育て支援策と住宅取得支援等の両輪の施策展開で、若い移住者を誘い定住を図っている。</p>
	<p>(3) 所感・市政に活かせること</p> <p>持続可能な人口増対策として、若者の移住を中心に置いた施策展開が成功している。移住時の住宅取得から結婚、マイホームの取得で定住へつなげるストーリーがはっきりしており、そのライフステージごとに支援策が施されている。また子育てのしやすい環境整備にも取り組んでおり、総合力の高い施策展開であると感じた。関係する各課の連携もしっかりととれており、様々な面で東御市でも参考とするべきである。</p>

(視察先の写真等がある場合は添付)



政務活動記録簿

会派名	東翔の会
事業名	東御市議会定例会等会議録購入
実施日	
参加議員	田中信寿、瀬田智之、大塚博文

1 東御市における課題と研修・調査の目的

本会議における議案の採決に至るまでの経過や審議された内容等について、今後の議会活動や市政の調査研究に活用するとともに、会派内議員の正確な情報共有を図るため、東御市議会定例会等の会議録を購入した。

2 経費

使途項目	経費の内容と内訳		金額(円)
(該当項目に○)	市議会会議録購入代	3月定例会 会議録	3,984
	〃	6月定例会 会議録	2,826
調査研究費	〃	9月定例会 会議録	3,345
研修費	〃	12月定例会 会議録	3,153
広報費			
広聴費			
要請・陳情活動費			
会議費			
資料作成費			
資料購入費			
人件費			
事務所費			
合計			13,308

※ 裏面に本事業に要した領収書その他支出を証する書類を添付のこと